

企業と生物多様性を巡る 世界の最新動向

(公財)日本自然保護協会 国際担当主任
国際自然保護連合日本委員会(IUCN-J) 事務局長
道家 哲平

平成28年2月9日 企業と生物多様性セミナー
無断転載はご遠慮願います

■わたしたちは自然保護NGOです

公益財団法人 日本自然保護協会

The Nature Conservation Society of Japan

略称 : NACS-J (なつくすじえい)



日本自然保護協会
THE NATURE CONSERVATION SOCIETY OF JAPAN

■ はじまりは、今から65年前の尾瀬…



白神山地



屋久島

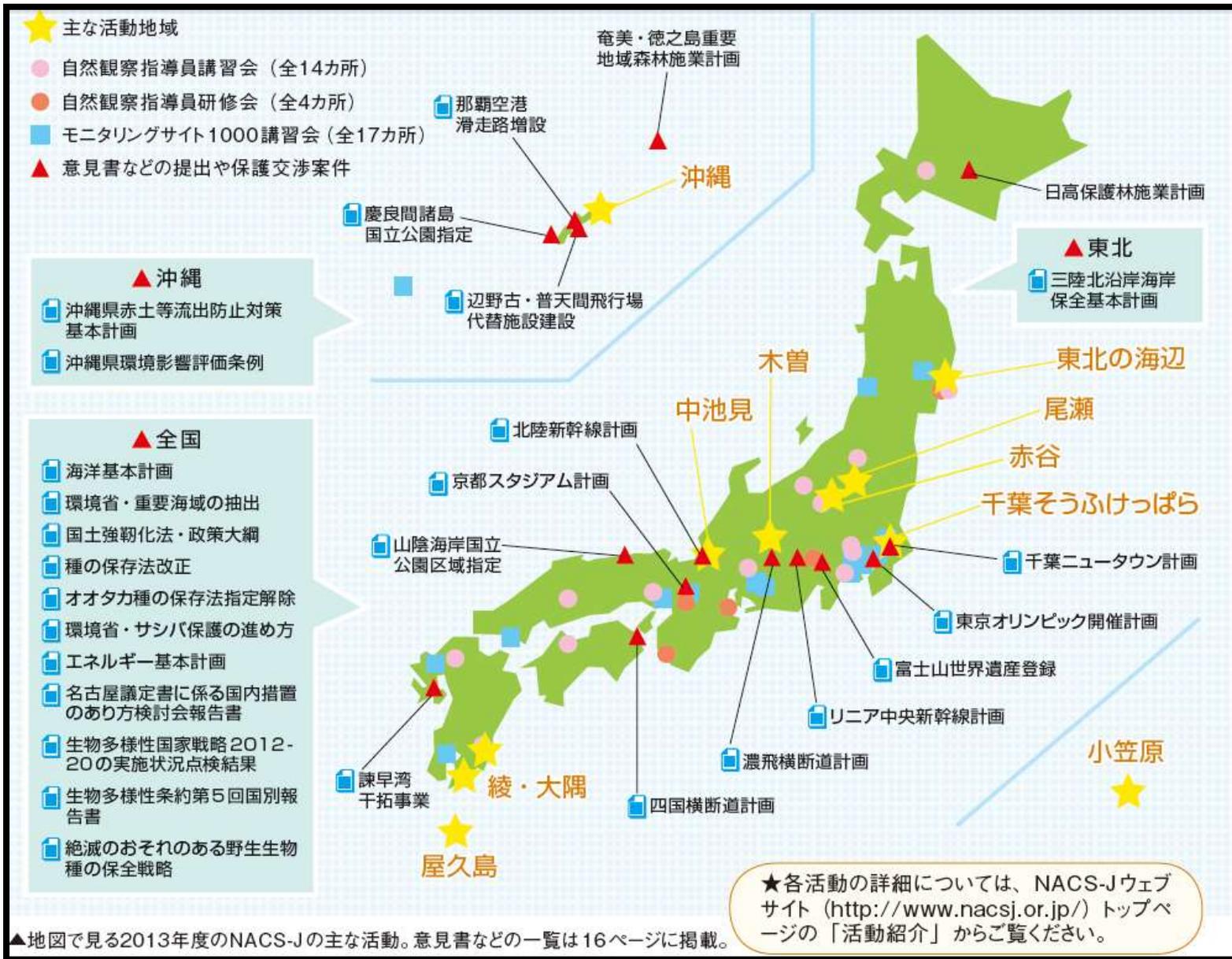


世界自然遺産



日本自然保護協会
THE NATURE CONSERVATION SOCIETY OF JAPAN

■みなさまからのご支援で日本全国で活動しています



プレゼンの目的

企業が、生物多様性を企業活動のなかで扱うべき重要課題に設定する（設定させる！？）という世界的な動きを俯瞰的に見ていこう。

アジェンダは、
企業にとって、
マーケットで“も”ある。

生物多様性の浸透度 企業

生物多様性保全を経営理念、方針、環境方針等に盛り込んでいる企業の割合(大企業)



生物多様性民間参画パートナーシップ会員アンケートより作成

生物多様性と企業の関係の歴史

- 企業vs自然保護は、数十年～百年にわたる歴史
- 生物多様性と企業の関係については、2004－2006年がターニングポイント（IUCNについては2004年から、EUは2005年、生物多様性条約についてはCOP8（2006年）に転換点）
- いずれも、事例共有→基本的考え方の整理→協働すべき点の検討や巻き込みを加速させる仕組みの検討などから始まる

欧州から世界、日本へ

2007



2008@CBD-COP9



2008



2010@COP10



なぜ、企業が生物多様性？

- 企業活動は大きい(経済的規模、事業規模)
- 企業活動は自然資源に依存する
- (企業活動も含めた)このままの自然資源利用が続ければ、地球システムは崩壊する
- 自由競争の中での変革(強制できない)

企業活動の変革
を促すソフト・
ハードを整備
NGO・国

企業環境が変わる
ので、一早く対応し
たほうが生き残れ
ると考える企業

の成果を元に作成



生物多様性管理を実施する企業パフォーマンス向上につ
ながるコミュニケーションを支援する制度

**「生態系配慮の認証制度」・
生物多様性の報告を義務付けた報告書・
社会的責任投資のための企業リスト**

生物多様性管理にむけた企業の宣言(コミットメント)の
実施を支援する制度



**影響評価・環境管理システム・ライフサイクルアセスメント
生物多様性オフセット**

生物多様性管理に向けた企業の宣言(コミットメント)を支援する制度

**グローバルコンパクト・自然保護憲章・
企業ガイドライン・各企業の環境宣言**

- 生物多様性やその価値の可視化(経済価値)と普及
- 政治・政策的方向付け

生物多様性に関する国際的メッセージ

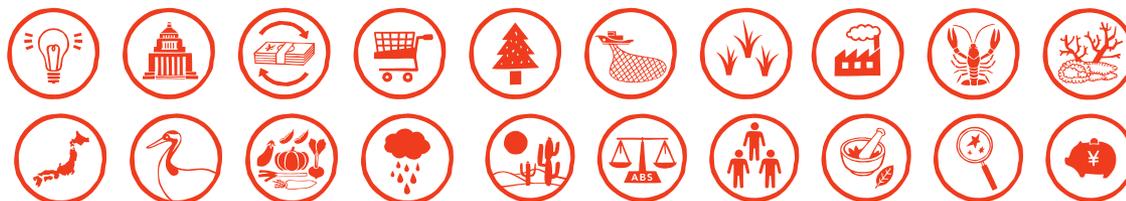
- “生態系サービスの(経済)価値評価” 生態系と生物多様性の経済学(TEEB: The Economics of Ecosystem and Biodiversity) @G8・独
- “194の国と地域による共通目標” 生物多様性戦略計画および愛知ターゲット @CBD-COP10, 2010
- “グリーンエコノミー” The Future We Want @RIO+20サミット、2012
- “自然資本宣言” @RIO+20サミット、2012
- 「我々の世界を変革する: 持続可能な開発のための2030アジェンダ」@国連総会2015

愛知ターゲット めざすべき世界の共通目標

- 地球規模、国家規模、地域規模で、
- 多様な主体(国連、国際機関、政府・自治体・企業・科学者・NPO・ユース・市民・農家・林業家・漁師・・・)がそれぞれの立場で
- 生物多様性・自然の恵みを守り・向上させ、賢明に利用し、公正に利益を分かち合うための行動を
- 分かりやすく20に単純化し、2020年までの目標としてまとめあげた。



条約の公式解説をもとに作られた国内唯一のガイド販売中





愛知ターゲットを受けた
「生物多様性国家
戦略2012-2020」が
閣議決定

生物多様性の主流
化(企業含む)のため
に、「国連生物多
様性の10年日本委
員会」発足

の成果を元に作成



生物多様性管理を実施する企業パフォーマンス向上につ
ながらコミュニケーションを支援する制度

「生態系配慮の認証制度」・
生物多様性の報告を義務付けた報告書・
社会的責任投資のための企業リスト

生物多様性管理にむけた企業の宣言(コミットメント)の
実施を支援する制度



影響評価・環境管理システム・ライフサイクルアセスメント
生物多様性オフセット

生物多様性管理に向けた企業の宣言(コミットメント)を支援する制度

グローバルコンパクト・自然保護憲章・
企業ガイドライン・各企業の環境宣言

- 生物多様性やその価値の可視化(市場価値)と普及
- 政治・政策的方向付け

学ぶ



宣言する



行動する



愛知ターゲット達成を
めざす仲間

全国各地

248 団体が

336 のアクション宣言

にじゅうまるプロジェクトのメリット (無料)

- 愛知ターゲット達成に向けて取り組むことの認知
- 国際・国内の情報の入手と広報機会の拡大
- UNDB-Jの連携事業(推奨事業)として認定される可能性
- 認定連携事業の実施企業例: 損保ジャパン日本興亜保険、中越パルプ工業、熊谷組、JTB、アレフ、良品計画、MS&AD、富士通、三菱地所など





イオン 「イオン生物多様性方針」と 「イオン持続可能な調達原則」に基づく取り組み

○イオンでは、上記の方針と原則に基づき、店舗や商品を通じて、お客さまやサプライチェーンの関係者と共に、様々な取組を実施しています。

生物多様性方針の取組例：イオンふるさとの森づくり、トップバリュグリーンアイ(PB商品)の販売とその生産現場でのエコ農業体験プロジェクト実施

持続可能な調達原則の取組例：MSC・ASC認証の水産物の販売、FSC認証の商品の販売と、建築資材での活用

○今後も、小売の本業を通じて、お客さまや、サプライチェーンの関係者と共に、継続的、発展的に取組を推進していきます。

○関連する愛知目標 1, 4, 5, 6, 7, 12

○URL <https://www.aeon.info/environment/biodiversity.html>

<https://www.aeon.info/environment/procurement/general.html>



の成果を元に作成

生物多様性管理を実施する企業パフォーマンス向上につ
ながらコミュニケーションを支援する制度

「生態系配慮の認証制度」・
生物多様性の報告を義務付けた報告書・
社会的責任投資のための企業リスト

生物多様性管理にむけた企業の宣言(コミットメント)の
実施を支援する制度

影響評価・環境管理システム・ライフサイクルアセスメント
生物多様性オフセット

生物多様性管理に向けた企業の宣言(コミットメント)を支援する制度

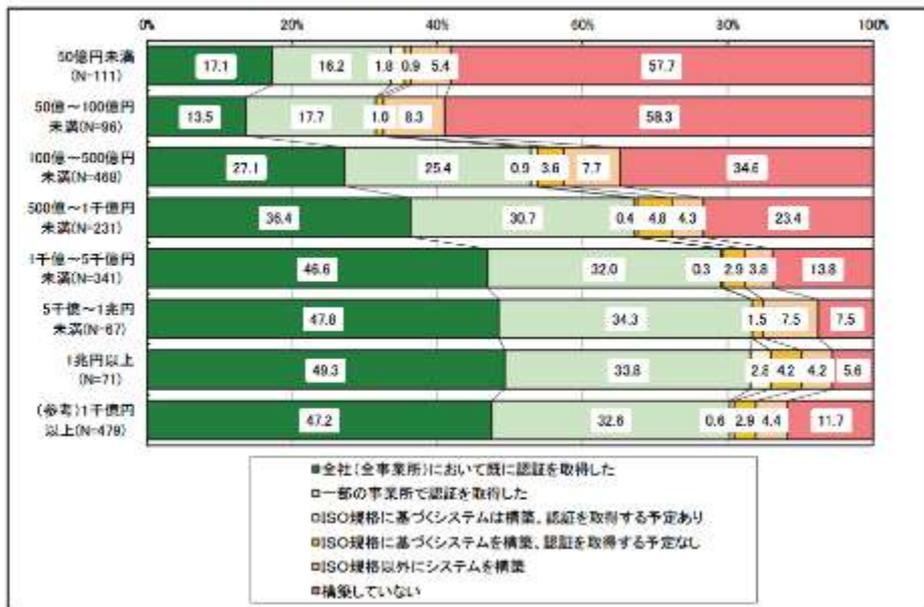
グローバルコンパクト・自然保護憲章・
企業ガイドライン・各企業の環境宣言

- 生物多様性やその価値の可視化(市場価値)と普及
- 政治・政策的方向付け

ISO14001環境マネジメント改定 (2015年9月より 移行期間2018年9月)

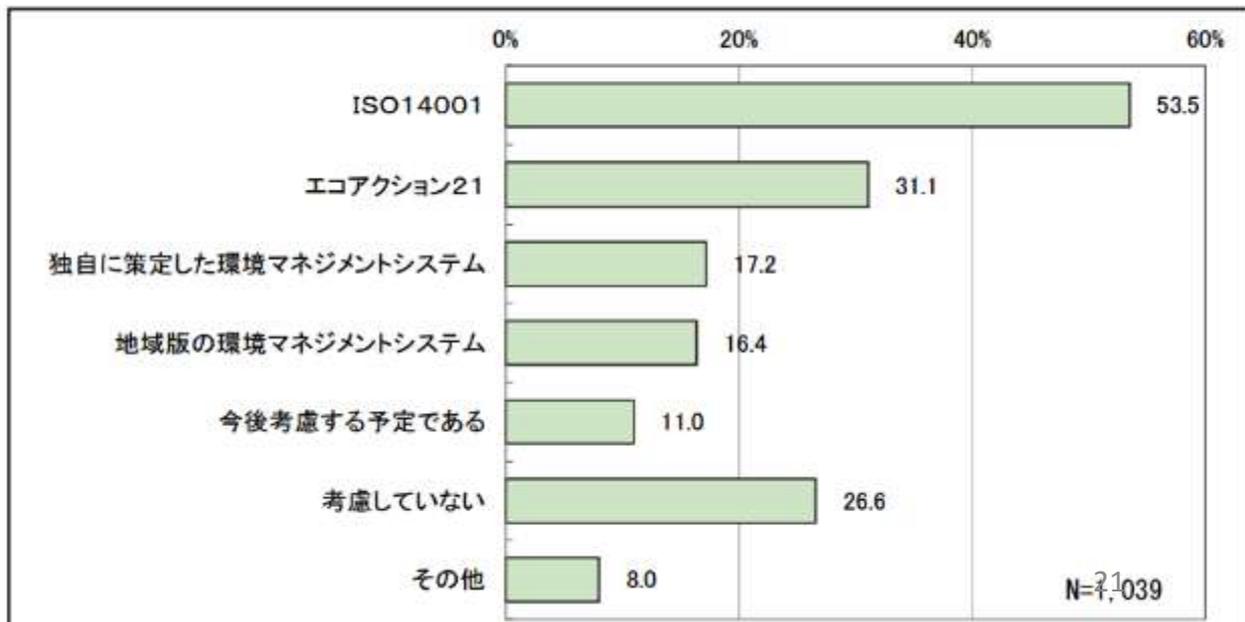
- 環境概念拡大: 汚染から、持続可能な資源利用、気候変動、生物多様性
- 戦略的環境管理: リスクと機会の特定
- リーダーシップ・コミットメント(の実施要求)
- 環境パフォーマンス重視
- 環境情報開示の重視

図9：ISO14001等の認証取得状況（売上高別）



←大企業(売り上げベース)ほど環境マネジメントシステム(EMS)を構築

図11：取引先選定で考慮する環境マネジメントシステム（複数回答）



EMS構築企業の半数は同様の取り組みを取引先に求める

の成果を元に作成

生物多様性管理を実施する企業パフォーマンス向上につ
ながらコミュニケーションを支援する制度

「生態系配慮の認証制度」・
生物多様性の報告を義務付けた報告書・
社会的責任投資のための企業リスト

生物多様性管理にむけた企業の宣言(コミットメント)の
実施を支援する制度

影響評価・環境管理システム・ライフサイクルアセスメント
生物多様性オフセット

生物多様性管理に向けた企業の宣言(コミットメント)を支援する制度

グローバルコンパクト・自然保護憲章・
企業ガイドライン・各企業の環境宣言

- 生物多様性やその価値の可視化(市場価値)と普及
- 政治・政策的方向付け



Project 02

国や地方は、生物多様性を大切にする計画を立てよう。

<本文>

遅くとも2020年までに、生物多様性の価値が、国と地方の開発・貧困削減のための戦略や計画プロセスに統合され、適切な場合には、国家勘定や報告制度に組み込まれている。

<GBO4>

生物多様性の価値の計画プロセスや貧困削減戦略、自然資本会計への統合で重要な進捗が見られた。国ごとに状況が異なるが、国際的なイニシアティブが底上げを図っている。

自然資本会計 Natural Capital Account

- 世界銀行、GRI(Global Reporting Initiative)などの国際機関やNGO、プーマ、ホルシム、ユニリーバーなど一部企業が推進
- 生態系サービス＝フロー。生物多様性＝フローを生み出す資本(キャピタル)
- 製品の原料調達から廃棄までの自然資源への負荷を企業の持続可能性レポートに組み込む
- 自然資本基準(Protocol)と、食品・飲料およびアパレル分野への適用ガイド作成中





**NATURAL
CAPITAL
COALITION**

A PART OF THE FSB COMMUNITY
Valuing nature in business

Founders and Members of the Board, Advisory and Observer Groups

The Natural Capital Coalition's founding organizations and supporters include:

			
 wbcasd	 FMO Entrepreneurial Development Bank	 Global Reporting Initiative™	 global initiatives
 BSR	 CORPORATE ECOFORUM Forging Next Practices in Corporate Sustainability	 CONSERVATION INTERNATIONAL	 CIMA Chartered Institute of Management Accountants
 THE WORLD BANK Working for a World Free of Poverty	 The Nature Conservancy  Protecting nature. Preserving life.™	 IFAC International Federation of Accountants	 ERNST & YOUNG Quality In Everything We Do
 Deloitte.	Funding is provided:	 GORDON AND BETTY MOORE FOUNDATION	 IFC International Finance Corporation World Bank Group

Global Commodity Impact Indicators for Biodiversityとの連携を

- 新規の取り組みとして、COP12生物多様性と企業フォーラムで提起
- 500以上あるエコラベルから、“生物多様性配慮”エコラベルを特定する基準作り





- 2400社(2014)に対する環境(気候変動・水・森林)アンケート
- 機関投資家に環境配慮投資を誓ってもらい、誓約した機関投資家にアンケート結果を提供
- 822機関のアセット総額95兆ドルの投資判断に活用

<https://www.cdp.net/en-US/Pages/HomePage.aspx>

参考:「トヨタショック」走る。自動車業界に「水リスク」急浮上～世界の投資家が注目する「CDPウォーター」～ (日経エコロジー、2015年4月13日)



Performance Standard 6 Biodiversity Conservation and Sustainable Management of Living Natural Resources

January 1, 2012

Overview of Performance Standards on Environmental and Social Sustainability

国際融資基準における生物多様性配慮の進展

Performance Standard 6 Biodiversity Conservation and Sustainable Management of Living Natural Resources

Do No Harm から Do More Good へ

- 国際環境潮流への参加
- コミットメントによる最先端の環境配慮企業という評判
- 環境管理システムによるリスク(操業(取引企業先の確保含む)・規制・評判)対応
- 認証製品活用・自然資本会計・社会的責任投資リストによる環境配慮企業という評価。長期的(=比較的安定の)投資対象

企業バラン、各企業の環境向

生物多様性に取り組むことは、
激動する世界経済情勢の中で、他社よりも
「持続可能性の高い企業」であることを
社会と株主に示す

アジェンダは、
企業にとって、
マーケットで“も”ある。

正直「ハードルが高すぎる」
という方々に

暮らしから
生物多様性を守る
というアプローチ

わたしたちと生きものたちのためにできる

5つのこと

やってみたいことに
○をかいてね!

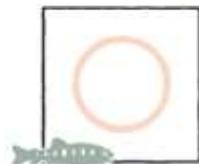
1  ふれよう

いろいろな^{ひと}人と、いろいろな^{きせつ}季節に、
生きものがあるところに行こう



2  たべよう

^{きせつ}季節のもの、
^{ちか}近くでとれたものをたべよう



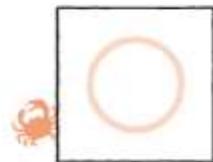
3  えらぼう

生きものにやさしい^{しょうひん}商品
をしらべよう、えらぼう



4  まもろう

生きものをまもる^{かつどう}活動を
しらべて、^{さんか}参加しよう

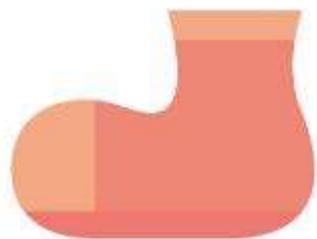


5  つたえよう

生きものに出会って^{であ}感じたことを
^{かぞく}家族や^{とも}友だちに^{つた}伝えよう



1



ふれよう

いろいろな^{ひと}人と、いろいろな^{きせつ}季節に、
生きもの^いのがいるところ^いに行こう



環境人材と一緒に育てる
自然観察指導員の育成



2



たべよう

きせつ

季節のもの、

ちか

近くでとれたものをたべよう

5つのこと



2月なばな

千葉県 ちば旬鮮図鑑

<https://www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/pbmgm/zukan/index.html>

例えば、社内食堂で、生きもの認証米を使ったランチを導入するとか。

3



えらぼう

^い生きものにやさしい^{しょうひん}商品

を
しらべよう、えらぼう

FSC

わたしたちにも、いきものにもやさしい

「かんりきちんともり管理されたき森つく」の木から作られる

かみ紙、ぶんぼうぐ文房具、ほん本やパンフレットなど

についています。

レインフォレスト・アライアンス

「^{かんり}きちんと管理された^{もり}森」からとどいた
^{しょうひん}商品についています。

^き木から^{つく}作られる^{しょうひん}商品だけではなく、

^{こうちゃ}コーヒーや^{くだもの}紅茶、チョコ、果物、

^き切り花、^{ばな}紙、^{かみ}家具などについています。
^{かぐ}

MSC

うみ い
海の生きものを
た

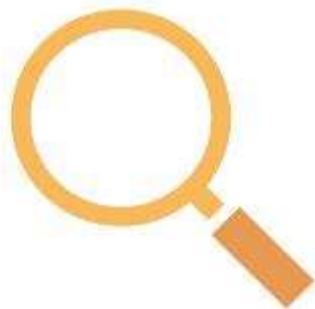
これからも食べていけるように、

うみ ほうほう
海にやさしい方法でとった

さけ、たら、たらこ、貝、エビ、カニなどの
かい

しょうひん
商品についています。

4

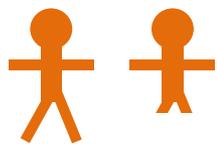


まもろう

^い生きものをまもる^{かつどう}活動を
しらべて、^{さんか}参加しよう

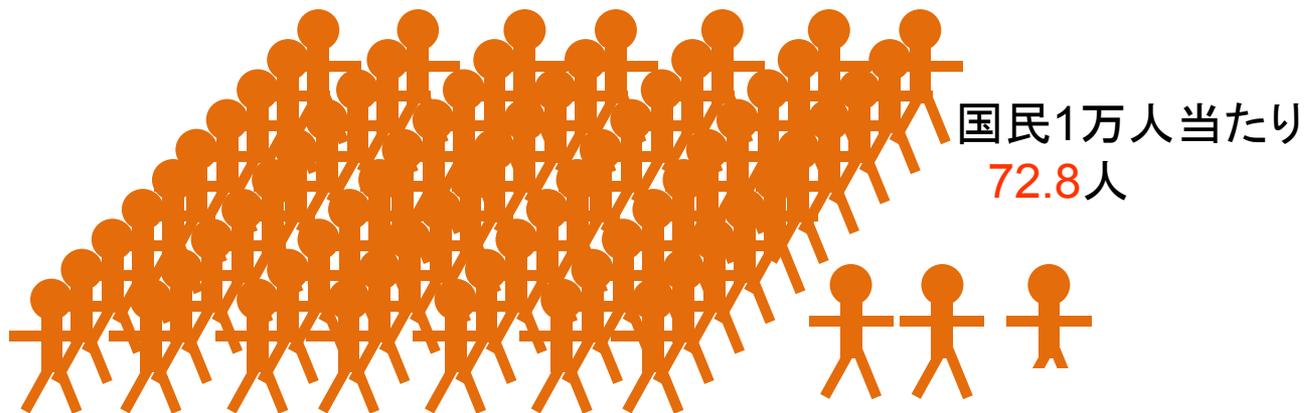
自然を守る社会への道のり

日本自然保護協会



国民1万人当たり
1.8人

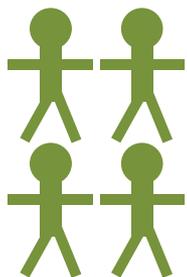
ドイツ自然保護協会



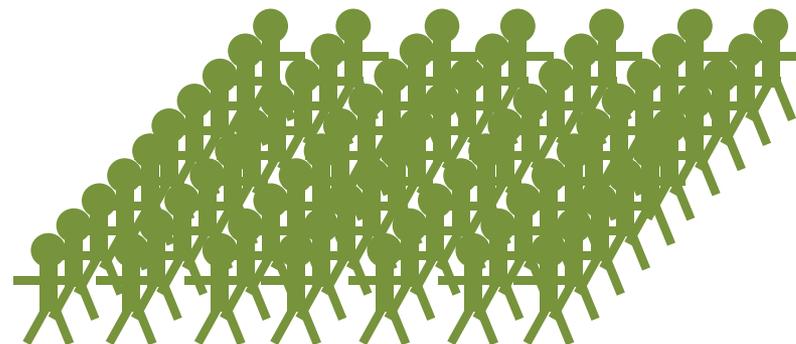
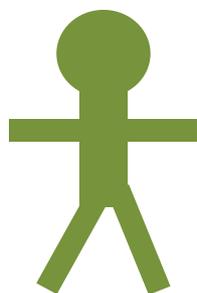
国民1万人当たり
72.8人

イギリス王立鳥類保護協会

日本野鳥の会



国民1万人当たり
4人



国民1万人当たり
170人

5



つたえよう

^い生きもの^{であ}に出会って

^{かん}感じたことを

^{かぞく}家族^{とも}や友だち^{つた}に伝えよう



NACS-J 市民カレッジ シリーズ 26

妖怪と自然

伝承や伝説の世界にとどまらず、小説やマンガ、ときにはアニメのキャラクターとして、今なお日本人にとって身近な存在である妖怪。今回のNカレでは、そんな妖怪にスポットをあてて、妖怪と自然との関係について皆さんと一緒に学びます。

ぜひ、お申し込みください！



※イラストと看板の写真は、日本自然保護協会の職員が奄美大島で撮影したものを使用しています。



日本自然保護協会

THE NATURE CONSERVATION SOCIETY OF JAPAN

NACS-J 市民カレッジ シリーズ 27



南三陸味わいサロン ～味覚で伝える自然のめぐみ～

2015年 **11月21日** (土)

14:30 開場 15:00 ~ 18:00



※写真はイメージです。



日本自然保護協会

THE NATURE CONSERVATION SOCIETY OF JAPAN

ちょうちよが教えてくれること。

ベランダや庭先でも見かける身近な昆虫、チョウ。モンシロチョウやアゲハチョウのほかにも、日本にはたくさんのチョウがくらしています。

今回のNカレでは、そんなチョウにスポットをあてて、ちょうちよの暮らす自然のことや、ちょうちよと一緒に生息しているほかの昆虫たちのことも学びます。

年末のひととき、不思議で可憐なチョウの世界を一緒にのぞいてみませんか？

お申込み、お待ちしております！



日本自然保護協会

THE NATURE CONSERVATION SOCIETY OF JAPAN

生物多様性の主流化を目指す「市民のための生物多様性全国出前講座」プロジェクト

NACS-J市民カレッジ シリーズ 28

いま、改めて知る、
生物多様性という言葉の奥深さ in 愛媛



日本自然保護協会

THE NATURE CONSERVATION SOCIETY OF JAPAN

学ぶ



宣言する



行動する



愛知ターゲット達成を
めざす仲間

全国各地

226 団体が

302 のアクション宣言

めざすべき世界の共通目標 愛知ターゲット

- 地球規模、国家規模、地域規模で、
- 多様な主体(国連、国際機関、政府・自治体・科学者・NPO・ユース・市民・農家・林業家・漁師・・・)がそれぞれの立場で
- 生物多様性・自然の恵みを守り・向上させ、賢明に利用し、公正に利益を分かち合うための行動を
- 分かりやすく20に単純化し、2020年までの目標としてまとめあげた。



体系的目標：社会の仕組み、現場の取組み恵みの共有、実行体制の強化



Project 01



Project 02



Project 03



Project 04



Project 05



Project 06



Project 07



Project 08



Project 09



Project 10



Project 11



Project 12



Project 13



Project 14



Project 15



Project 16



Project 17



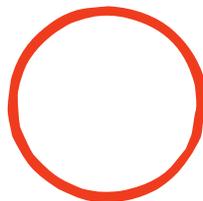
Project 18



Project 19



Project 20



Project 21

にじゅうまるプロジェクトのメリット (無料)

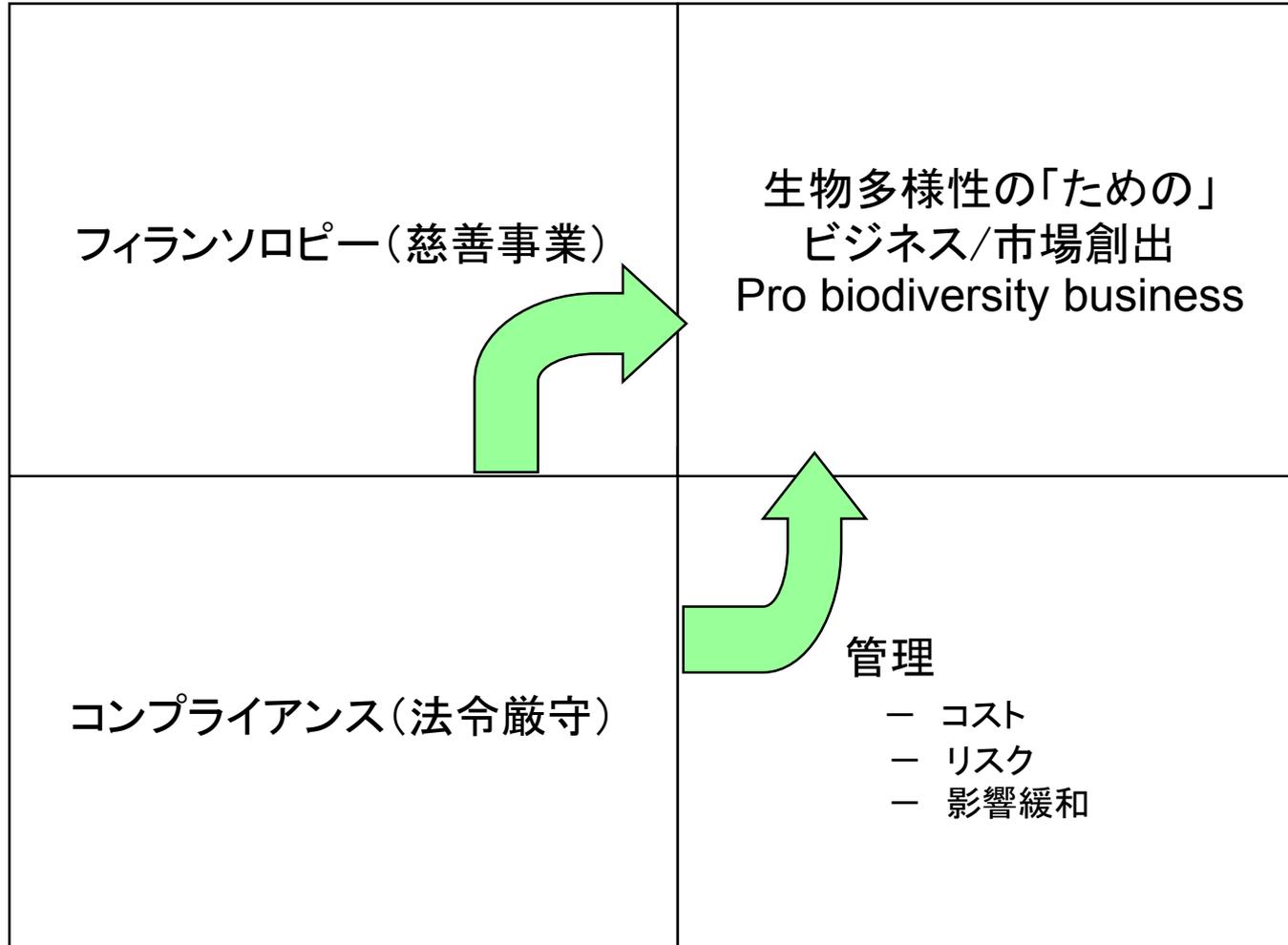
- 愛知ターゲット達成に向けて取り組むことの認知
- 国際・国内の情報の入手と広報機会の拡大
- UNDB-Jの連携事業(推奨事業)として認定される可能性
- 認定連携事業の実施企業例: 損保ジャパン日本興亜保険、中越パルプ工業、熊谷組、JTB、アレフ、良品計画、MS&AD、富士通、三菱地所など



株主に価値を与える活動

Business as usual

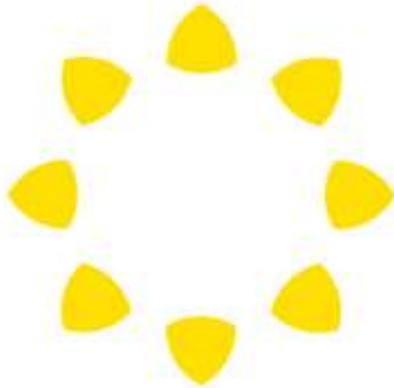
差別化利益の構築



プラス価値の創出

害を出さない

社会に価値を与える活動



自然のちからで、明日をひらく。

日本自然保護協会

THE NATURE CONSERVATION SOCIETY OF JAPAN

ご清聴、ありがとうございました